



宮崎 正光 議員

コンテナ方式による
分別収集について

問 市のコンテナ方式による分別収集の現状と、啓発活動及び行政指導の成果について。

市民部長 松橋を除いた4地区の移行計画が出ており、平成20年度までには各町ともに完全実施ということに計画を挙げている。

問 今後の努力で平成20年度完全実施の目標を前倒しできないか。

市長 コンテナ収集完全実施に向けて、市民の理解と協力を得ながら、計画を立てて進めている。タイムリミット20年と言わず、1年でも早く完全移行できるように取り組んでまいりたい。

宇城消防署南署建設について
問 庁舎建設に向けて現況は大分遅れているように思われる。その問題点は何か。
市長 現在、造成工事に向けた測量設計を行っている。今回の補正予算に造成工事に伴う工事請負費を計上し、平成18年度庁舎建設に向けて準備を進めている。

問 市の消防行政の中核として、市民防災センターの機能を兼ね備えた防災拠点としての位置づけが必要ではないか。



坂崎 改輝 議員

農業生産の
安定化対策について

問 台風に強いハウスの建設、暴風ネットの導入等などのように講じていくのか。

市長 農業の活性化が重要と考え、今後も積極的に補助事業を取り入れ、農業の振興に努めてまいりたい。
問 トマト黄化葉巻病対策について、市の対応策は。
市長 生産者、農業改良普及センター、JAが一体となつてコナジラミ対策を行った結果、相当の結果を上げてきた。今後、今までとってきた手法を、気を抜くことなく、被害防止に努めていきたい。

コバエ被害防止策について。
市長 指定農薬での適期防除、防虫ネット、粘着テープ、ムシフローター（光誘引捕虫器）の導入により、地域ぐるみの体制強化を図り、被害防止に取り組んでまいりたい。
問 燃料費の高騰による生産体系への影響について、また燃料費の補助は考えられないか。
市長 春メロンの早出し出荷を考えた場合、高品質のものを栽培できる生産者で

市長 南署建設については、単なる火災、救急のみならず、市民の安全のための防災対策も十二分に考えていかなければならないと思う。そういう観点から南署の中身というものを主張してまいりたい。
問 庁舎の当初の建設計画では、延べ面積2,200㎡。以後2回にわたつて修正が行われ、40%の下方修正で1,318㎡に縮小がなされている。会議室や通信機械室等、19項目にわたる計画の中止。当初計画は一体何だったのか。

縮小された理由は何か。
市長 財政負担の問題が慎重論に変わった背景にあると思う。市にきちんとした装備の消防署を作らなければならないことを強く主張してまいりたい。
問 南署には、市消防団の大会でもできるような十分なスペースがある。団員訓練のための夜間照明施設、水利施設の整備は検討できないか。
市長 訓練のための諸設備は必要だと思う。最後まで注視して、努力してまいりたい。



坂本 順三 議員

通学路の安全について

問 近年、学校の登下校中に犯罪に巻き込まれるケースが急増している。子供たちが安心して通学できる環境づくりをしなければなら

ないが、点検及び整備は行われているのか。また台風シーズンを迎え、通学路に面した崖崩れ等の危険箇所は何箇所ぐらいあるのか。
市長 近年の不審者による犯罪が続発する中、犯罪防止のため、防犯灯を設置する対策を講じる必要がある。統一基準を作成し、必要と判断された場合、全額市の負担とし、維持管理についても市の負担とする。この基準を嘱託員代表者会に周知徹底を図っていく所存である。

教育部長 危険箇所については、急傾斜地関係と崖地関係では都市部と半島とか山間地等そういった面が主に多く、不知火、豊野、小川の海東地区等が主に、三角町も含めてある状況である。学校で処理できない点については、道路管理者等、関係機関と協議しながら速やかに対応するよう心がけていく。



歩道がない通学路は危険です（不知火町亀松）

職員の健康管理について

問 市の職員は、毎年定期健診を義務づけられ健康管理はできていると思うが、

現代病と言われている心の病が急増している。心の病に対してどのような取り組みを考えているのか。
市長 現代のストレス社会の中で心の病が心配される。専門医による精神衛生、カウンセリングの実施や元氣回復事業等、職員の意向を十分把握して活力回復を図るための施策を計画的に実施していく。また、適切な職員配置に努め、一部の職員に事務量の過重負担がないよう配慮する考えである。



緒方 幸一 議員

中小零細業者対策を!!

問 商工自営業者は厳しい状況である。そこで次の事項を提案する。①市発注の契約にかかる宇城市小規模契約希望

者登録制度のPRと利便性の改善、②スタンプカード事業を市全体に拡大し大幅な助成をつける、③個人住宅リフォーム助成制度の創設、④宇城市独自の長期貸付制度の創設。
市長 ①は検討する。②については、本年より宇城市ポイントカードを導入するため500万円を予算化した。③は弱者対策の観点から検討する。④については、ベンチャー企業への融資制度、空き店舗活用等に対する低利融資支援資金を視野に入れて検討する。

農業振興に最大の力を!!
問 農家も来年度から消費税の課税業者となる人が多いが、現状では払えない状況であり施策の提案をした。①激安農産物に付加価値を付ける研究と流通の確保、②価格補償制度の拡充。
市長 ①については、野菜類は漬物等の材料に、果樹はジュース等の原料として活用が考えられる。②は国策として実施されるべき性質のものと理解している。

独居老人世帯(H17.8.23現在)

65歳～69歳	373人
70歳～74歳	443人
75歳～79歳	503人
80歳～84歳	504人
85歳～89歳	330人
90歳以上	255人
計	2,408人

65歳以上年金収入額(H14年中)

20万円以下	292人
20万～40万円	1,619人
40万～60万円	3,621人
60万～80万円	2,311人

老人福祉・国保税について
問 市職員、部課長自らが独居老人世帯を訪問して現状を把握する義務があると思うがどうか。
市長 今後検討したい。

6万4千市民の命を預かる
大切な事業なのに!!

問 宇城消防署南署建設計画について、本署機能を持った南署建設が決まっていたのに、なぜ今になって中分署移転なのか。
市長 期待に添うよう全力で発言する。